

衆議院議長 殿
参議院議長 殿



大気汚染によるぜん息等の患者の医療費助成を求める署名

【請願趣旨】

国は、1988年「大気汚染公害は終わった」として、公害健康被害補償の指定地域解除（新規認定打ち切り）をしました。しかし、自動車排ガスによる被害は終わることなく、今なお患者は増え続けています。大気汚染訴訟で被害が認められた川崎市に2007年・東京都に2008年ぜん息患者の医療費助成制度が創設されました。

医療費助成により症状が改善し、社会生活が取り戻せた患者が約10万人に達しましたが、東京都は財源を理由に2015年3月新規認定を終了しました。


環境省が実施する、「環境健康影響調査」でも自動車排ガスとぜん息発症の関連が認められています。さらに、PM2.5（微小粒子状物質）という毒性の高い汚染物質は、呼吸器だけに止まらず心筋梗塞・脳梗塞など全身の健康被害が懸念されています。

自動車排ガスによる大気汚染の根本的な原因は、国の規制が遅れたことにあります。国は責任を持って、以下の対策を行ってください。

【請願項目】

1. ぜん息・慢性気管支炎・肺気腫に苦しむ、未だに救済を受けていない患者のために大気汚染医療費助成制度の創設をすること
2. 自動車排ガスによる大気汚染の改善、とりわけPM2.5（微小粒子状物質）の測定と対策を早急に取り組むこと

名 前	住 所

署名集約先  全国公害患者の会連合会

〒160-0022 東京都新宿区2-1-3 サニーシティ新宿御苑10階
Tel 03-3352-9475 Fax 03-3352-9476

取扱い団体